

新年の五穀豊穰を願い「弥生画」奉納

当町の元町弥生会（小関優会長）と山道町内会（澁谷信一会長）が、五穀豊穰を願い、穀物の種子を使って描く「弥生画」を制作し、昨年末、鶴田八幡宮と山道閭籠神社にそれぞれ奉納しました。

弥生画は飢饉による犠牲者が相次いだ江戸時代、村人たちが残り少ない種子を板に貼り付けて豊作を祈ったことが始まり。当町では約200年以上続く伝統文化となっており、穀物の種子を貼り付け、その色を生かして絵を仕上げるのが特徴です。

元町弥生会の題材は「福祿寿と布袋尊」。昨年11月下旬から、会員が割り箸を使ってナタネやアズキなど10数種類の穀物を貼り付け、岩木山と津軽富士見湖を背景に今年の干支「戌」と2人の神様を描きました。小関会長は「リンゴやコメ、スチューベンの豊作を祈って作った。今後も伝統ある弥生画を続けていきたい」と話していました。

山道町内会の題材は「大国主命と因幡の白ウサギ」。岩木山と鶴の舞橋を背景に、毛皮を剥ぎ取られて泣くウサギに大国主命が手を差し伸べる場面が描かれています。澁谷会長は「人々が慈愛に満ちた心を育んでほしいという思いで制作した。新年も災害がなく穏やかな1年になってほしい」と話していました。

※弥生画は4月以降、道の駅つるた内の大豆・米加工施設西側壁面に展示される予定です。



△元町弥生会の弥生画「福祿寿と布袋尊」



△山道町内会の弥生画「大国主命と因幡の白ウサギ」

鶴田町フォトコンテスト2017の結果を発表します

当町では、鶴田町内の風景・人物・生活・イベントなどを被写体とした作品を募集する「鶴田町フォトコンテスト2017」を昨年8月5日（土）から11月30日（木）まで開催したところ、35作品の応募がありました。

昨年12月21日（木）に審査会を行った結果、下記のとおり入賞作品が決定しましたのでお知らせします。

◆鶴田町フォトコンテスト2017結果

- 金賞：「綺羅星のしたで」馬淵雅之さん（写真①）
- 銀賞：「初冬 鶴の舞橋と岩木山」福地孝典さん（写真②）
- 銅賞：「湖畔のひととき」吉田茂夫さん
- 入選：「ブルーに染まる頃」成田徹さん
- 入選：「鶴泊の夏」菊池元さん
- 入選：「松と鶴の舞橋」三津谷彰子さん

※このほか、Instagram(インスタグラム)でもコンテストを実施し結果（最優秀賞1点、優秀賞3点）が決まりました。入賞作品は、町観光ウェブマガジン「メデタイツルタ」に掲載していますので、ぜひご覧ください。



①



②

鶴田診療所 眼科廃止のお知らせ

当診療所では、眼科の医師不足により非常勤医師を確保できなくなったため、やむを得ず平成30年3月末で眼科を廃止することとしました。

患者様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いします。

平成30年4月以降は、眼薬等の定時薬も処方できなくなるため、他の眼科を紹介いたしますので、3月までの眼科診察日にご来院のうえ眼科医師にご相談ください。

■問い合わせ先 鶴田診療所 0173 (22) 2261

